

取材先	あいにんか（愛憐花）		
企画名	癒されて・・・ 高杉晋作の休息		
備考			
取材日	2021年5月30日(日) 天候[晴れ] [11:00~12:00]	取材地	東行庵

レポート

あいにんか（愛憐花）は笑顔と癒しをテーマに、障害と難病への理解を求めて活動しています。

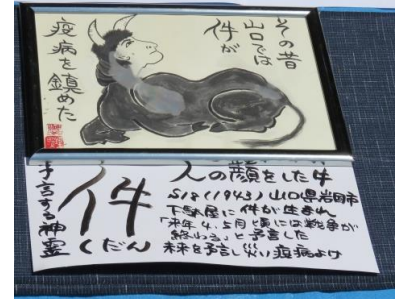
この日は山口きらめき財団の助成事業として、作品展&三味線演奏のオンライン配信のための撮影会が行われました。本来であれば、6月6日(日)～6月20日(日)の期間中、東行記念館1階 講堂での作品展、12日(土)・13日(日)は三味線演奏会が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響ため中止せざるを得なくなりオンライン配信となりました。上田代表は、コロナ禍で自粛生活を余儀なくされ、辛い思いをされているみなさんを少しでも元気づけたいと、自身が描く地蔵画と音とのコラボを企画しました。新型コロナウイルスの退散を願って、件(くだん)も描き展示していました。

今回この企画に賛同し参加したのは、市民活動団体「はあとふりい下関」の会員、福田浩三さんの観音様の切り絵や16歳の高校生、市竹康資さんの三味線演奏、撮影には市民活動団体「あなるぐの会」の岸田代表が徳山から来られ協力しました。市竹さんと上田代表との出会いは、悩みながら訪れていた川棚の青龍湖(舟郡ダム)で三味線を弾いていたところ偶然出会い、新たな出発としてこの企画の参加となりました。

晴天に恵まれたオンライン撮影会は、高杉晋作が最も好んだ花“梅”が植えられている梅園の側で行われました。三味線の音が地蔵画作品のBGMとなり、まるで晋作の合いの手までもが聞こえてくるような時間でした。また、初代藩主の梅処尼が好んだ花菖蒲の時期と重なり見事な花が見頃でしたが、オンライン配信のみとなったのがとても残念でした。

この企画の配信は、6/13(日)から、YouTube「癒しの理照さま」で配信されます。是非ご覧になってください。

状況写真



その昔山口では、件(くだん)が疫病を鎮めたといわれています。  
※件(人の顔をした牛の妖怪)



市竹康資さんの三味線演奏の

福田浩三さん作品  
[観音様]



上田理美 代表 (左から2番目)

